

まちづくりキャッチフレーズ

あふれる笑顔 豊かな緑

交流とふれあいのまち倉吉



あけましておめで^{とう}湯！ せきがね湯命館

1月1日、せきがね湯命館で、「あけましておめで湯！」と題して、鏡開き、振る舞い酒、もちつき、ぜんざいの振る舞いが行われました。

この年始イベントは、湯命館が平成15年から元旦営業を始めたのに併せて開催されているもので、今年で第4回を数えます。参加した湯命館の入場者(今年は元旦に約1,100人)、毎年楽しみにされている旅館の宿泊者や地元の方は、鏡開きしたお酒を口にしながら新年のあいさつを交わしていました。また、地元の浅井もちっこ倶楽部の協力でついたおもちを、ぜんざいやいろいろの炭火で焼いてしょう油につけた香ばしいあつあつを、ほおばっていました。

参加者はこのあと、お湯につかり、心も体も温まって新年を迎えました。

このほか湯命館では、「日替わりお年玉プレゼント」として、1日から4日までの入湯者先着で100人に、日替わりプレゼントが進呈されました。

●主な内容●

- 通勤・通学にバスを利用しよう……………2
- 新市ブランド化計画の取り組み状況
男女共同参画プランへの意見を募集……………3
- 市議会12月定例会報告……………4
- ハート・バリアフリー……………5
- 広域連合消防出初式／韓日記……………6
- ぐらしの交差点……………7～12
- ほけん……………13
- 伯耆しあわせの郷／キャンパスだより…14

2006 1・15

●倉吉市の人口(基本台帳) 52,782人(ー 17)男 24,963人(ー 13)女 27,819人(ー 4)世帯数 20,135世帯(+ 2)
●外国人登録者数 374人(ー 3)男 108人(ー 1)女 266人(ー 2)世帯数 320世帯(ー 2)(H17. 12. 31現在)

通勤・通学に

バスを利用しましょう



通勤の交通手段として自家用車の利用を控え、バスなどの公共交通機関を利用しましょう。特に冬期間は、思わぬ大雪に見舞われ、渋滞を引き起こすことがたびたびあります。バスなどの公共交通機関は一度に多くの人を輸送できますし、交通渋滞や交通事故防止、そして二酸化炭素の排出量を削減するなど地球環境への負担を減らすことができます。

公共交通機関(バスなど)を利用することは、地域の日常生活を守ることにつながります。

路線バスの現状は

路線バスは、通勤、通学、通院はもとより、地域の日常生活を支える大変重要な交通機関としての役割を担っていますが、自家用車の急速な増加によってバス利用者が著しく減少し、県内の利用者数は、昭和41年をピークに減少を続け平成16年にはピーク時の約9.9%(対前年比95.7%)となり、1人当たり1月の乗車回数も1回と歯止めがからない状態です。

路線維持のため 市が負担している金額

地域にとって必要な路線バスですが、利用者の減少から赤字となる路線が増加し、路線の維持・確保が難

しい状況が続いています。

国、県、市では、さまざまな補助金制度を作り、バス事業者に対して必要な交通手段の確保をするため、赤字バス路線への補助を行っています。

バス事業者にも、維持・確保について見直しを行っていただいています。バス利用者の減少で毎年多額の補助金を支出しています。

倉吉市の補助金の推移

年度	補助金額
平成13年度	6,390万円
平成14年度	6,160万円
平成15年度	6,660万円
平成16年度	6,170万円

バスは重要な交通手段

地域の重要な交通手段として路線バスを維持するためには、何よりも市民の皆さんにバスを利用していただくことです。バス事業者では、だれでも利用できる人に優しいノンステップバス、ワンステップバスの導入も進められています。市民の皆さんには、家庭、職場、地域で利用について考えていただき、バスを利用しましょう。

また、事業所などでは、ノーマイカーデーを設定いただき、公共交通機関(バスなど)の利用を促進しましょう。

路線バスの運行などに対する

ご意見は、市役所企画課

(☎ 22-8161 / ☎ 22-8144)

E-mail: kikaku@city.kurayoshi.tottori.jp

※路線バスのサービス、ダイヤなどの問い合わせは、

日ノ丸自動車株式会社倉吉営業所
(☎ 26-4111 / ☎ 26-4117)

日本交通株式会社倉吉営業所
(☎ 26-1111 / ☎ 26-6236)

安くて便利な岡山行高速バス
岡山空港・JR乗り換えが便利です

倉吉⇄岡山空港・岡山駅

〈運賃〉岡山駅まで **回数券・2,250円×(4枚綴り)**

岡山空港は→回数券・2,000円×(4枚綴り)

毎日4便 倉吉駅発 7:00・8:20・14:30・16:30
所要時間 岡山空港まで2:25 岡山駅まで2:55
お問い合わせ・日ノ丸自動車(株)倉吉営業所 ☎26-4111

日本交通 1泊2日バス旅行
第13回 日交スペシャルツア春一番

『山内一豊ゆかりのあったか南国土佐・室戸岬の旅』
土佐皿鉢料理とかつおのタタキ食べ放題の夕食

旅行代金 平日発 22,000円～休前日発 27,500円
出発日 2/19(日)・2/20(月)・2/23(木)・2/25(土)・2/26(日)・2/27(月)・2/28(火)
・3/1(水)・3/4(土)・3/5(日)・3/6(月)・3/7(火)・3/9(木)・3/10(金)・3/11(土)
・3/12(日)・3/15(水)・3/16(木)・3/17(金)・3/19(日) の全日
倉吉 6:50 ごろ発 / 19:30 ごろ着予定

申込・問い合わせ先 ☎0858-26-1117
旅行企画・実施: 鳥取県知事登録旅行業第2-2号
㈱日本交通旅行社 倉吉営業所 旅行業務取扱管理者 松下 薫

新市ブランド化計画の取り組み状況

倉吉市では、平成17年度新市建設計画に伴い新市ブランド化計画（地域資源を活用した新市の活性化計画）を民間との協働で策定するため、新市ブランド化計画策定分科会など開催業務をNPO法人養生の郷へ委託し、住民の地域資源活用に向けた意見集約、意識の高揚を図っています。

＜主な取り組み状況＞

第1回イベント……………

■『こころもからだも温まる～里見ゆかりの郷フォーラム～』

新市の歴史文化を地域資源としてとらえ、どのように活用していけばよいのかを講演パネルディスカッションを通して、市民に考えていただくため開催しました。

と き：平成17年11月5日(土) 14時～

ところ：倉吉市関金都市交流センター

参加者：約130人

○講演

講師：大岳院住職 中村見自さん

鳥取大学地域学部教授 野田邦弘さん
講演内容：里見忠義ゆかりの地としての地域住民の意識改革、地域の人が意識していない歴史文化も全国に誇れる地域資源となり全国発信が可能であるなどの講演をいただきました。

○パネルディスカッション

コーディネーター：新市ブランド化プロデューサー 福井功さん

パネリスト：講演いただいた講師2人、せきがね里見まつり実施委員会副委員長 福永晴美さん、NPO法人養生の郷理事長 竹田哲男さん

内容：里見終えんの地としての倉吉市、里見まつりで披露される里見ハ犬士を題材としたせきがね子供歌舞伎の全国発信の可能性、まちづくりの主役は住民であることを再認識し、今後の地域資源の活用役に役立てることを確認しました。

第2回イベント……………

■「実践的・食料産業クラスター学習フォーラム」

と き：平成17年11月26日(土) 15時30分～

ところ：JA 鳥取中央本所大会議室

参加者：約70人

○講演

講師：農林水産省総合食料局 食品産業企画課課長補佐 津金澤昌宏さん

演題：『～応援します「新市ブランド化」～実践的「食料産業クラスター」の解説』
講演内容：異業種の結びつきによる、地域特産品開発の今後の可能性をわかりやすい制度解説を交えご講演いただきました。

○パネルディスカッション

コーディネーター：新市ブランド化プロ

デューサー 福井功さん

パネリスト：JA 鳥取中央代表理事組合 長坂根國之さん、㈱赤瓦取締役 森和美さん、農林水産省 津金澤昌宏さん

内容：それぞれの立場からの特産品開発の取り組みについての活発な質問をされました。今後はこの食料産業クラスター制度を活用し、新しい特産品開発が進むものと期待しています。

＜今後の予定＞

地域資源としての活用を考える「薬膳、湯治場、観光およびグリーンツーリズム事業」に関連したイベントを開催する予定としています。今年度のうちに新市ブランド化計画（概要版）を策定し、市民の皆さんに倉吉市の地域資源を再認識していただき、自らが誇りを持ち、全国発信できるよう計画を実行していきます。

※「新市ブランド化」とは、新市の恵まれた自然環境、歴史文化、農産物、温泉、古い町並み、地域特産物などの地域資源を活用した新市の活性化につながる仕組みづくりを行政と民間との協働で進め、これを新市の特徴として新市内外に発信していくことです。

※グリーンツーリズムとは、「緑豊かな農村地域で、その自然・文化・人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動」というのが農林水産省の定義です。

第3回 イベント

「薬膳」「湯治」を活用しよう

「薬膳と湯治～地域資源を生かした町づくり～フォーラム」

と き：1月28日(土) 午後2時～(受付：午後1時30分～)

ところ：関金都市交流センター 大ホール(湯命館となり)

対象者：一般公開*入場無料

(ただし、試食会参加者は、当日200円負担)

内容：第1部＝講演「『地産地消を考える薬膳～地元食材を最大限に駆使しよう～』(講師：全日本薬膳食医情報協会理事長 岡本清孝さん) 講演「『温泉活用による健康づくりと地域振興』(講師：湯原温泉旅館協同組合理事長 古林伸美さん)

第2部＝座談会・質疑応答・薬膳試食会

※問い合わせ先

NPO法人養生の郷 担当：青木、岸本 (☎ 48-7001)

市企画部交流推進課 (☎ 45-2112/ ☎ 45-3964)

※倉吉市のホームページに、「新市ブランド化プロデューサーの情報コーナー」がありますので、ぜひご覧ください。

男女共同参画プラン への意見を募集

(仮称)第3次くらし男女共同参画プランについて意見を募集します。

家庭・地域・職場などあらゆる場面で男女が互いにその人権を尊重しながら責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざし、現在(仮称)第3次くらし男女共同参画プランの策定に取り組んでいます。このプランは、より効果的で実効性のあるものにしようと、公募で集まっていた市民の皆さんと行政が情報を共有し、アイデアを出し合い、さまざまな問題を話し合いながら進めています。プランの内容をホームページで公開していますので、ご意見をお寄せください。ホームページがご覧にならない人は、人権政策課へお問い合わせいただくか、各地区公民館にも置いてありますのでご利用ください。

応募期間…1月16日(月)～31日(火)

応募方法…郵送、ファクシミリまたは電子メール(様式不問)

郵送先

〒682-0864

鍛冶町1丁目297-2

人権局人権政策課男女共同参画係宛

メールアドレス

jinkenseisaku@city.kurayoshi.

tottori.jp

ホームページアドレス

http://www.city.kurayoshi.tottori.jp/p/

gyousei/dv/seikatsu/jinkenseisaku/3/

※問い合わせ先

人権局人権政策課男女共同参画係

(☎ 22-4891 / ☎ 22-4901)